

## 9) 高齢診療科

### 1. 診療体制と患者構成

#### 1) 診療科スタッフ（講師以上）

神崎 恒一（教授・診療科長）

大荷 満生（准教授）

長谷川 浩（准教授）

松井 敏史（准教授）

#### 2) 常勤職員、非常勤職員

常勤医師数：21名（教授1 准教授3 助教3 医員9 レジデント5）

非常勤医師数：10名（客員教授2 非常勤講師4 専攻医4）

#### 3) 指導医、専門医・認定医

日本老年医学会指導医 8名

老年病専門医 18名

日本内科学会指導医 5名

認定総合内科専門医 1名

認定内科医 24名

日本臨床栄養学会臨床栄養指導医 1名

日本認知症学会指導医 6名

日本認知症学会専門医 9名

日本循環器学会循環器専門医 3名

日本消化器病学会消化器病専門医 1名

日本消化器内視鏡学会専門医 1名

日本未病システム学会未病医学会認定医 2名

日本プライマリケア学会認定医 3名

日本動脈硬化学会認定動脈化専門医 1名

日本リハビリテーション学会認定臨床医 1名

日本医師会認定産業医 3名

日本神経学会専門医 1名

日本神経学会指導医 1名

#### 4) 外来診療の実績

高齢診療科

年間のべ患者数 7,074名

専門外来の種類

もの忘れセンター

年間新患者数 587名、のべ5,443名

詳細な報告書を返送することで、紹介症例のほとんどは紹介医で治療を行っている。

当科での治療および年1-2回の画像検査を行う併診体制をとっている。

脂質異常症専門外来（年間のべ患者数 1,371例）

・ヘテロ型家族性高コレステロール血症	164例
・Ⅱa型高脂血症	382例
・Ⅱb型高脂血症	418例
・Ⅳ型高脂血症	354例
・Ⅴ型高脂血症	43例
・CETP欠損症	3例

- ・二次性脂質代謝異常症 48例  
(原発性胆汁性肝硬変、甲状腺機能低下症、薬剤性等を含む)

高齢者栄養障害専門外来 (年間のべ患者数 34例)

身体組成計測 (インピーダンス法)・short physical performance battery等による  
栄養・身体機能評価

骨粗鬆症外来 (年間のべ患者数 56例)

胃瘻外来 (年間のべ患者数 6例)

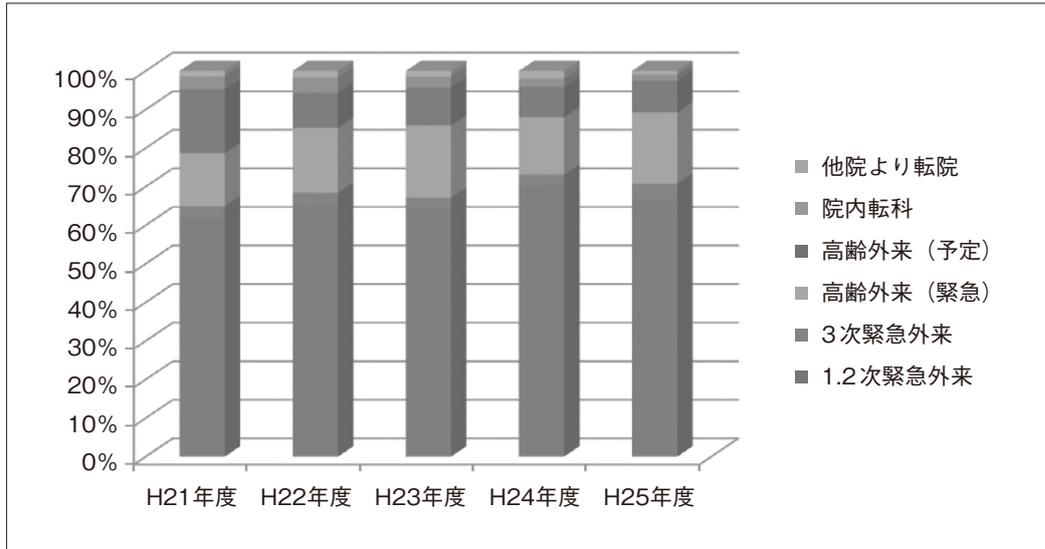
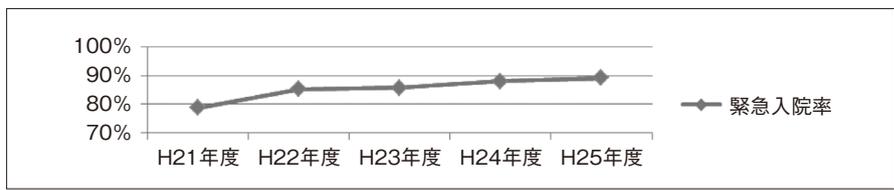
転倒予防外来

- ・重心動揺計を含む転倒検査を406例施行した。
- ・転倒予防手帳 (転倒スコア) を配布し、転倒予防の啓発に努めている。
- ・自宅で実施可能な、転倒予防体操の指導を行っている。

5) 入院診療の実績

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新規入院患者数 (のべ人数)	291	401	395	342	308
平均年齢	84.09	85.56	85.9	86.32	86.82
死亡患者数	36	57	41	37	34
剖検数	3	4	2	4	5
剖検率	8.33%	7.02%	4.88%	10.81%	14.71%

①緊急入院率と入院経路



## ②主要疾患患者数（のべ人数）の推移

主要疾患患者数（のべ人数）	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
神経精神疾患	180	183	281	231	186
呼吸器系疾患	199	230	325	267	214
循環器系疾患	235	381	381	364	325
消化器系疾患	113	135	212	199	151
腎泌尿器系疾患	184	227	192	236	195
筋骨格系疾患	64	58	98	73	70
血液系疾患	33	50	49	39	39
内分泌／代謝系疾患	108	154	176	129	129
その他の疾患*	194	195	273	188	167
悪性腫瘍全体	44	58	49	46	48

\*感染症、膠原病、DIC、廃用症候群、他科疾患など

## 2. 先進医療への取り組み

- 1) 総合機能評価（疾患評価、BADL、IADL、認知機能、うつ、意欲、社会的背景）を用いた認知症の診断と治療：重症度に応じた画像診断と個別治療
- 2) 非侵襲的動脈硬化検査：非侵襲的検査（脈波速度、頸動脈エコー）を用いた動脈硬化性疾患の病状把握
- 3) 大脳白質病変の半定量評価と危険因子検索
- 4) 転倒・骨折予防：転倒リスク評価、重心動揺計、身体組成計を用いた部位別筋肉量・脂肪量・骨量の解析による栄養評価と指導、骨密度、栄養、運動などの包括的評価
- 5) サルコペニアならびに虚弱の定量的評価
- 6) 栄養評価：身体計測法、栄養調査表による詳細評価と生活指導
- 7) 光トポグラフィーを用いた大脳活動のリアルタイム評価

## 3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

大脳白質病変検査：	587例
重心動揺計：	510例
転倒検査：	611例
総合的機能評価：	2,055例
光トポグラフィー：	30例

## 4. 地域への貢献（講演会、講義、患者相談会など）

## もの忘れ家族教室

中居龍平、金（非常勤講師）、認定看護師、音楽療法士、ソーシャルワーカー他 年間80回開催  
認知症入門、予防・治療、介護、運動療法、音楽療法、介護保険の6テーマを繰り返し、毎回6  
家族限定で開催している。

日本老年医学会	17回
三鷹・武蔵野・調布市での講演会・講習会	21回
各地での講演・講習会等	40回
日本動脈硬化学会	1回